

長崎大学グローバルCOEプログラム  
「放射線健康リスク制御国際戦略拠点」  
第5回研究課題報告会プログラム  
日時:平成22年3月11日(木)13:00~19:00  
場所:長崎大学医学部良順会館ボードインホール

はじめに 拠点リーダー:山下俊一 13:00-13:05

座長:鈴木啓司

セッション 1:放射線基礎生命科学研究 I

1. 総括:基礎放射線生物学研究の成果のまとめと今後の展開  
鈴木啓司 13:05-13:10
2. ATM/p53依存的G1チェックポイントによる染色体転座の抑制  
山内基弘 13:10-13:20
3. 乳がん細胞を用いた生細胞イメージングシステムによる放射線誘発細胞死系譜の包括的な解析  
鈴木正敏 13:20-13:30
4. NIPBL依存的なDNA二重鎖切断部位へのCohesinの局在化  
岡 泰由 13:30-13:40
5. ヒト線維芽細胞における放射線照射による遅延的ミトコンドリア形態変化  
小橋川新子 13:40-13:50
6. 難治性放射線潰瘍に対する脂肪組織由来幹細胞移植治療の基盤的研究  
早田知永 13:50-14:00

座長:永山雄二

セッション 2:甲状腺癌研究

7. 総括:甲状腺癌研究  
永山雄二 14:00-14:05
8. Cre-loxp システムを用いた Braf 発現トランスジェニックマウスの作製  
中原麻美 14:05-14:15

9. 新規甲状腺乳頭癌関連遺伝子の検索

松瀬美智子

14:15-14:25

10. Molecular epidemiology study of radiation-induced thyroid cancer and molecular mechanisms of thyroid carcinogenesis.

Tatiana Rogounovitch

14:25-14:35

11. Thyroid cancer research: Involvement of VHL tumor suppressor gene in thyroid cancer and combination of drug treatment for thyroid cancer.

Boban Stanojevic

14:35-14:45

12. The study of genetic susceptibility to radiation-related thyroid cancer and molecular bases of rare thyroid diseases.

Natallia Akulevich

14:45-14:55

13. 難治性甲状腺癌に対する新規分子標的治療・放射線併用療法の開発

熊谷敦史

14:55-15:05

座長: 中島正洋

セクション 3: 原爆医療研究

14. 総括: 原爆医療研究分野における病理学研究について

中島正洋

15:05-15:10

15. TP53 経路を介した bFGF の小腸における放射線誘発アポトーシスの抑制効果

松山睦美

15:10-15:20

16. 長崎原爆被爆者腫瘍組織バンクの経過報告～第2報

三浦史郎

15:20-15:30

17. 長崎急性原爆被爆者の剖検・パラフィン標本を用いた残留放射能の検出法

七條和子

15:30-15:40

18. 成熟ラット甲状腺濾胞上皮の放射線感応性解析

蔵重智美

15:40-15:50

19. 子宮頸がん腫瘍進展過程での 53BP1 発現解析:臨床病理学的応用  
松田勝也 15:50-16:00
20. Type of 53BP1-expression in thyroid follicular tumor: correlation between 53BP1 nuclear foci and genomic instability  
Zhanna Mussazhanova 16:00-16:10
21. 原子爆弾被爆者における体性幹細胞のゲノム不安定性の研究  
長井一浩 16:10-16:20
- (休憩) 16:20-16:35
- 座長:吉浦孝一郎
- セクション 4:分子遺伝研究
22. ディフェンシン遺伝子群コピー数多型に注目した子宮頸癌感受性個体差の解明  
三嶋博之 16:35-16:45
- 23.統合失調症および自閉症、一卵性双生児不一致例におけるゲノム構造変化の検証  
小野慎治 16:45-16:55
24. 原因不明の歌舞伎症候群患者におけるコピー数解析  
佐々木健作 16:55-17:05
- セクション 5:放射線基礎生命科学研究 II
25. 放射線照射によるミトコンドリアの機能障害  
吉田貴子 17:05-17:15
26. ミトコンドリア機能障害が放射線誘発ゲノム不安定性の誘導に果たす役割  
川勝美穂 17:15-17:25
27. エチルウラシル化合物を用いたヌクレオチド除去修復(NER)欠損疾患の診断法確立と新規 NER 因子の探索  
中沢由華 17:25-17:35

座長:柴田義貞

セッション 6:国際放射線保健医療研究

28. 放射線リスクの認知とコミュニケーション

柴田義貞

17:35-17:45

29. アイソトープ実験施設の研究、社会活動および放射線リスク管理状況

吉田正博

17:45-17:55

30. チェルノブイリ、セミパラチンスク及び長崎における放射線被ばくリスクについて

平良文亨

17:55-18:05

31. ロシア連邦ブリヤンスク州におけるチェルノブイリ原発事故後の住民の線量評価

関谷悠以

18:05-18:15

32. Assessment of radiation risk in high radiation background area- Environmental radioactivity, individual dose estimation, and urinary iodine concentrations in Tamilnadu, India.

Gopal Ganapathi Brahmanandan

18:15-18:25

33. 総括:在韓被爆者の精神健康に関する調査研究

小澤寛樹

18:25-18:30

34. 在韓被爆者の精神健康に関する大規模調査研究

越本莉香

18:30-18:40

さいごに

1.拠点リーダー:山下俊一

2.お知らせ:永山雄二

18:40-19:00